

2025年1月14日

各位

会社名 川上塗料株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 聡一
(コード: 4616 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役経理本部長 松下田佳子
(TEL 06-6421-6325)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2024年1月12日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2024年11月時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年11月30日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。当社は、「流通株式時価総額」について、2025年11月期までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の適合 状況及びそ の推移	2023年11月30日時点	673	5,431	8.5	54.3
	2024年11月30日時点	630	5,453	8.6	54.5
上場維持基準		400	2,000	10	25
当初の計画に記載の計画期間		—	—	2025年11月末	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（2023年12月～2024年11月）

当社は、流通株式比率は基準を満たしておりながらも「流通株式時価総額」が基準に到達していないという結果を踏まえ、未達の要因を、業績不振により株価及び時価総額が低迷しているためととらえております。従いまして、業績を向上させることで株価及び時価総額を向上させ維持していくことが課題であり、企業価値向上に向けた施策を実施していくことが重要と考えて、2024年11月期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画の達成に向けて取り組んでまいりました。

しかしながら、2024年11月期の業績は下記の通りであり、想定以上に長引く原材料の高騰及び物流費や人件費など経費の増加を、生産性の向上や販売価格への転嫁などで補いきれなかったことに加え、機械・金属関連といった当社の主要な取引先での生産減による需要減少などで売上高が減少したことから、利益が大きく減少し、売上高・利益とも計画未達となりました。また、設備投資につきましては、半導体不足による納期の長期化などから計画に対する遅れが生じました。未達成の課題については、新中期経営計画において重点課題として対応いたします。

中期経営計画 最終年度の数値目標および実績（連結）（単位：百万円）

	2024年11月期 (計画)	2024年11月期 (実績)	達成率
売上高	6,590	5,913	89.7%
経常利益	256	142	55.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	220	170	77.5%
純資産	3,250	3,217	99.0%
経常利益率	3.9%	2.4%	62.2%
自己資本比率	38.0%	38.0%	100.1%

3. 今後の課題・取り組み

当社は、株価および流通株式時価総額の向上のために市場から評価されるに値する業績を目指し、2025年11月期を初年度とする新たな3ヵ年の中期経営計画を策定いたしました。前中期経営計画での未達成の施策を含めた新たな各種施策に取り組み、業績の向上に努めていきます。新中期経営計画の数値目標は以下のとおりです。

また、株主還元方針につきましては、前中期経営計画の期間において安定配当を重視しつつ自己資本比率の向上を図りましたので、本中期経営計画期間中に配当性向を段階的に引上げ、自己資本比率が40%以上になった場合、配当性向を30%とすることを目指します。

詳細につきましては、2025年1月14日公表の「中期経営計画の策定に関するお知らせ」(<https://www.kawakami-paint.co.jp/20250114-plan.pdf>)をご覧ください。

数値目標(連結)

(単位：百万円)

	2025年11月期 (計画)	2026年11月期 (計画)	2027年11月期 (計画)
売上高	6,360	6,630	6,830
経常利益	260	285	315
親会社株主に帰属 する当期純利益	205	220	245
純資産	3,382	3,545	3,737
経常利益率	4.1%	4.3%	4.6%
自己資本比率	38.3%	39.6%	41.2%

以上